

第3期データヘルス計画概要版（案）

1 健康課題の整理

（1）第3期データヘルス計画で取り組むべき課題

第2期データヘルス計画を踏まえ、現状分析の結果見えてきた課題を示します。いずれの課題もデータヘルス計画全体の目的である**健康増進**と**保険者として努めるべき医療費適正化**に必要な課題です。

課題	優先度	現状分析からの示唆
生活習慣に課題がある人が多い	大	不適切な食生活や、運動不足、過剰なストレス、過度の飲酒、喫煙などの生活習慣は、脳血管障害・心疾患・腎不全などの重篤な疾患と関係しており、不適切な生活習慣を改善することはこれらの疾病予防につながります。 また、H30年度と比較すると「1日3合以上飲酒」「睡眠不足」と回答する割合は増加しており、「1回30分以上の運動習慣なし」と回答する割合はH30年度より減少していますが、県や国よりも高く、引き続き第3期で取り組みが必要な健康課題です。
生活習慣病のリスク未把握者が多い	大	特定健診受診率を高めることで、メタボリックシンドローム該当者や糖尿病・高血圧症の疑いのある対象者を把握し、保健指導や医療などの予防のために必要な支援を提供できます。R4年度の特定健診受診率は39.0%であり、国や県と比較すると高いが、国の目標値である60%に到達しておらず、引き続き第3期で取り組みが必要な健康課題です。
メタボ該当・予備群割合が大きい	大	肥満や高血圧・高血糖・脂質異常などに複数該当する状態をメタボリックシンドロームと呼び脳血管障害・心疾患・腎不全など重篤な疾患の発症の危険性が高まります。生活習慣の改善や保健指導・医療の受診が必要な場合があります。 メタボリックシンドロームの該当者は432人（22.2%）、予備群は260人（13.3%）であり、H30年と比較すると、メタボ該当者・予備軍該当者の割合は増加しており、引き続き第3期で取り組みが必要な健康課題です。
受診勧奨判定値を超える者が多い	大	高血圧・高血糖・脂質異常などの異常値は、脳血管障害・心疾患・腎不全など重篤な疾患の発症に繋がります。特に受診勧奨判定値を超える場合は適切な医療機関受診が必要です。 特に、糖尿病が重症化するリスクの高いHbA1c8.0以上の該当者は3人であり、H30年の3人から横ばいとなっており、引き続き第3期で取り組みが必要な健康課題です。
後発医薬品の普及割合が低い	大	後発医薬品（ジェネリック医薬品）は、先発医薬品と同等ながら安価であるため、後発医薬品の普及は、患者負担の軽減や医療保険財政の改善に資するものです。後発医薬品の普及率はH30年度の74.1%からR4年9月時点の78.8%へと改善しているものの、国の目標値である80%に到達していないため、引き続き第3期の課題として取り組みを続けます。
不適切受診・服薬者が多い【新規】	大	不適切受診・服薬（重複受診、頻回受診、重複服薬、多剤服薬等）は、医療費適正化の観点だけでなく、薬の副作用を予防する点からも重要です。重複処方該当者は6人であり、多剤処方該当者55人であり、引き続き第3期で取り組みが必要な健康課題です。

(2) 第3期データヘルス計画で取り組むべき課題(目的)ごとに対応する個別保健事業

課題(個別目的)		対応する個別保健事業
脳・心・腎臓病予防	生活習慣に課題がある人が多い (生活習慣に課題がある人を減らす)	<ul style="list-style-type: none"> ● 特定保健指導・特定保健指導未利用者勧奨事業 ● 保健指導 ● 加東サンサンチャレンジ
	生活習慣病のリスク未把握者が多い (生活習慣病のリスク未把握者を減らす)	<ul style="list-style-type: none"> ● 特定健康診査・特定健康診査未受診者勧奨事業
	メタボ該当・予備群割合が多い (メタボ該当・予備群割合を減らす)	<ul style="list-style-type: none"> ● 保健指導 ● 加東サンサンチャレンジ
	受診勧奨判定値を超える人が多い (受診勧奨判定値を超える人を減らす)	<ul style="list-style-type: none"> ● 糖尿病性腎症重症化予防事業 ● CKD(慢性腎臓病)対策
医療費適正化	後発医薬品の普及割合が低い (後発医薬品の普及割合を上げる)	<ul style="list-style-type: none"> ● 後発医薬品(ジェネリック医薬品)普及促進対策
	不適切受診・服薬者が多い (不適切受診・服薬者を減らす)	<ul style="list-style-type: none"> ● 適正受診・服薬対策

(3) 課題ごとの目標設定

課題(個別目的)		目標	
		指標	R11目標値(R4実績値)
脳・心・腎臓病予防	生活習慣に課題がある人が多い /生活習慣に課題がある人を減らす	特定保健指導実施率	60% (48.2%)
	生活習慣病のリスク未把握者が多い (特定健診未受診者が多い) /生活習慣病のリスク未把握者を減らす	特定健診受診率	51% (39%)
	メタボ該当・予備群が多い /メタボ該当者及び予備軍を減らす	メタボリックシンドロームの該当者の割合	21.5% (22.2%)
	受診勧奨判定値を超える人が多い(血糖・血圧・脂質) /受診勧奨判定値を超える人を減らす	HbA1c8.0%以上の者の割合	減少 (1.3%)
医療費適正化	後発医薬品の普及割合が低い /後発医薬品の普及割合を上げる	後発医薬品の普及率	80% (78.8%)
	不適切受診・服薬者が多い /不適切受診・服薬者を減らす	不適切受診・服薬者の減少率	50% (33.3%)

後発医薬品の普及率のR4実績値はR4年3月時点の実績値